

神辺町川南片山の水路転落死亡事故に関する申し入れ

2011 年 10 月 4 日

福山市長 羽田 皓様

日本共産党福山市議会議員団

村井明美

高木武志

土屋知紀

式部昌子

日本共産党東部地区
子ども・女性対策委員長

河村晃子

新聞報道によると 9 月 28 日午後 3 時頃、神辺町川南の市道・片山九ノ丁線沿いの用水路に男性が転落し、病院に搬送後、死亡するという痛ましい事故がありました。

30 日、日本共産党市議団は現地調査を行いました。現地の用水路側にはガードレールが設置されておりました。

発見者によると、自転車が路肩から水路に向かって倒れており、水路に転落していた男性は、意識がなかったとのことでした。

少なくともガードレールがあれば、転落死亡は免れたのではないかと残念でなりません。

現地は、道路から水路までの高さが約 3 メートルあり、水路の幅は 1.3 メートル、水深は約 40 センチで、転落すれば重大な事故につながりかねません。車の離合、自転車の走行、車と歩行者のすれ違いにも転落の危険性が強く懸念されます。

次の点を緊急に要望いたします。

- 1、 転落死亡事故が起きた現場に、直ちにガードレールを設置すること。
- 1、 当片山地域は、川南区画整理事業区域にあたり、長年、生活環境整備が遅れている。地域の安全対策を急ぐこと。

以上。